

平井院村 ひらいんむら 詩人、小説家。明治十七年五月二十一日群馬縣生れ、大正八年九月一日歿（八十二歳）。本名駒次郎。筆名ひらい、坂東太郎、平井櫻州、院村漁郎、花和尙、阪東太郎等。明治二十六年早稲田大學高等師範部國漢科卒。報知新聞社入社。大正二年退社後著述生活。

- 著書「明治探偵實話」（大正元年九月十一日東京國民書院）、可頭山満と「洋社物語」（大正二年五月十日武俠世界社）、可浮世の波（大正四年七月十五日榮文館書店）、可野葡萄（大正四年九月二十五日國民書院）、可維新殉難叫血録（大正四年九月二十五日國民書院）、可頭山満と「洋社物語・續編」（大正四年十月一日武俠世界社）、可讀書の趣味と其方法（大正五年四月二十五日國民書院）、可曾根兄弟（大正五年七月十日國民書院）、可詩文小品「湯けむり」（大正七年九月十五日武俠世界社）、可熊澤蕃山（大正八年七月十日國民書院「歴史小説文庫」）、可民謡「麥笛」（大正八年九月二十日支文社）、可金瓶「敵」（昭和五年七月五日神谷竹之編輯、大阪・大文館書店）等。
- 文獻、平井芳夫著「平井院村の詩話」（昭和二十二年六月二十日中央文化社）等。

